

令和8年8月27日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 9月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

温かいご支援に感謝して

校長 栗田 朋子

日中は30度を超える猛暑が続く毎日となっておりますが、保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、去る7月28日に発生いたしました熊本地震、ならびに8月13日から14日にかけて発生した千葉豪雨におきまして、被災された皆様、ならびにご家族や関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。今なお不安な日々を過ごされている方々の安全と、被災地の一刻も早い復旧・復興を、学校一同心よりお祈り申し上げます。

この夏休み中も、保護者の皆様・地域の皆様には温かいご支援をいただきました。猛暑の中でお越しいただいた「個人面談」、PTAの皆様による「カーテン洗濯ボランティア」、そして東希きょうどう隊の皆様による「ウサギのお世話ボランティア」など、多大なご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。皆様のおかげで、子どもたちが気持ちよく、安心して前期後半を迎えられる環境が整いました。

また、夏休み中には4階教室の断熱化改修工事が行われました。天井裏に断熱材が入り、窓には遮熱カーテンが設置されました。夏休み明けには、これまで以上にエアコンの効果が高まることを期待しております。



さて、8月8日(土)には、希望が丘東地区連合自治会主催の「第19回東希望が丘地区夏祭り」が本校グラウンドにて開催されました。毎年本校の児童も楽しみにしており、在籍児童はもちろん、卒業生にも会うことができる夏の恒例イベントです。当日は、自治会町内会・各種団体・希望が丘中学校の生徒による模擬店販売が行われました。また、本校 3・4 年生と中尾小学校 5・6 年生の有志による「ソーラン節」の演舞も披露されました。

ソーラン節は長年両校の運動会で親しまれてきた演技であり、卒業生にとっても思い出深い演目です。音楽が流れると観客の皆様も自然とリズムを取り、「ドッコイショ、ドッコイショ!」と掛け声を合わせる姿が見られました。地域の皆様が一体となるこの手作りのお祭りは、地域の連帯の輪を広げ、皆様が安心して暮らせるまちづくりにつながっていることを、参加された方々の笑顔からあらためて実感いたしました。

いよいよ本日より前期後半がスタートいたします。厳しい暑さが残る中でのスタートとなりますので、学校におきましても児童の健康管理や熱中症対策に万全を期してまいります。ご家庭におかれましても、引き続きお子様の体調管理にご理解とご協力をお願い申し上げます。

前期後半も引き続き「温かく安心できる学校づくり」を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。